

ロータリー情報研究会を終えて

織田ガバナーをはじめ、地区内14分区各ガバナー補佐の皆様や、情報研究会をホストして下さった各クラブ会長・幹事の皆様には、ロータリー情報研究会の開催に際し、深いご理解とご尽力を頂いたことに、改めて心から御礼を申し上げます。

こうして各分区から報告書が出来上がり、拝読させて頂きますと、ロータリー情報研究会におきまして、当時のロータリアン皆様の活発な意見交流ができた模様が、昨日のように思い起こされてきます。参加された累計1,275名の会員皆様が、真摯になってロータリー理念や活動に対して、一生懸命に調査や討議をされていたことが、とっっても新鮮で強く感銘をうけることができました。

織田ガバナー年度テーマであります、ロータリアンとしてのスタイルを磨こうですが、会員それぞれの熱心な思いを発表することで、ロータリーと対峙している姿勢を見つめ直し、陳腐化していた感性を目覚めさせ、グループ討議での真剣な発言につながってくれたと認識しております。

委員会として沢山の反省点がありますが、地区内の分区に、すべて均一に情報伝達をすること、意思の統一を図ることの難しさを体験でき、委員会活動に理解を得ることの重要性を、改めて強く認識しているところです。

織田ガバナーをはじめ、各分区のガバナー補佐の皆様と、もっと十分な意見交流と意思の疎通を図るべきであったことが反省させられております。

それでも、情報研究会のグループ討議でなされた意見交流は、何かしらの学びと感動の恩恵を受けてくれたものと、各分区からの報告書の発表記録の中から窺え、少しでもお手伝いできたことを自負して、各委員がそれぞれ嬉しい勉強をさせて頂きました。

今回の経験を生かして、是非とも地区の活性と会員の意識の高揚に、益々謙虚に学び取りをできるように尽力をしていきたいものです。

ここに改めて、ロータリー情報研究会を開催して頂いた、各分区ガバナー補佐の皆様と、ホストをして下さった主催クラブの会長・幹事の皆様に、心よりの御礼と感謝をさせていただきます。

あわせて、土屋亮平地区職業奉仕委員長の風霜高潔な姿勢から、改めてロータリアンとして職業奉仕の本質と源流を学びとることができ、各分区の討議の中で有益に活用し伝達することができました。

地区クラブ研修委員会から報告書のお届けとさせて頂きますので、有効なご活用を期待しておりますが、織田ガバナーから頂いたロータリー情報研究会のテーマである、なぜ私たちは週一度ロータリーに集うのかは、永遠のテーマとして、常に心に留め置き思慮し、仲間の皆様と謙虚に語り合いをしていきたいものと念じてまいります、諸事お世話になり誠にありがとうございました。

2010-11年度地区職業奉仕委員会クラブ研修委員長
海寶 勘一（千葉西RC）

地区クラブ研修委員会委員

川名 光俊(館山RC) 堀内 正一(木更津RC) 安蒜 俊雄(松戸東RC) 山下 清俊(市川東RC)